

対象クラス	2年ビジネス管理科・ビジネス情報科(選択者) 生活文化科(全員)	単位数	2
使用教科書	数研出版 改訂版「生物基礎」		
使用副教材	数研出版「リードLight 生物基礎」		

「生物基礎」はこんな科目です。

「生物の特徴」「遺伝子とその働き」「生物の体内環境の維持」「生物の多様性と生態系」の4項目について学習します。生物を学習することが自分自身の理解へと繋がり、衣食住などの生活を豊かにします。また、健康や環境保全へと広がりのある学習をしていきます。

科目の到達目標（目標とする検定等）

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けます。さらに、生物学の基本的な考え方や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもっているか。また、疑問に思ったことを確かめてみようとする態度であるか。	・授業に対する姿勢、学習態度
思考・判断・表現	授業内容を適切にまとめ、科学的な思考ができるか。観察・実験に対して予想や考察ができ、的確な報告書を作成することができるか。	・定期考査 ・観察実験レポート
観察・実験の技能	観察・実験において適切に器具を操作し、安全に実施することができるか。	・観察実験に対する姿勢 ・定期考査
知識・理解	生物についての基本的な原理や法則を理解し、正しい知識を身に付けているか。	・定期考査 ・観察実験レポート

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 【前期中間考査】	生物の共通性と多様性 細胞とエネルギー	・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。 ・生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。
前期期末	第2章 遺伝子とそのはたらき 【前期期末考査】	遺伝情報とDNA 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。 ・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。
後期中間	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境とその維持 【後期中間考査】	体内環境の恒常性 体内環境の維持のしくみ 免疫	・体内環境が保たれていることを理解する。 ・体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解する。 ・免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解する。
後期期末	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布 第5章 生態系とその保全 【学年末考査】	植生の多様性と分布 生態系とその保全	・陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、様々なバイオームが成立していることを学ぶ。 ・生態系では物質が循環するとともにエネルギーが移動することを学び、生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。